

実用化が期待される在宅医療機器等について（案）

厚生労働省では、平成 25 年 1 月、在宅における療養を支える体制整備の一環として、在宅医療の現場でニーズの高い医療機器等の実態把握を目的とした調査を実施した。

本調査において挙げられた在宅医療におけるニーズの高い医療機器は以下のとおり。

1. 利用する機会が多い医療機器

- ・ 小型、薄型、安価な自動解析機能付きパルスオキシメーター、ポータブル心電図
- ・ 通信機能付き検査機器
（電子カルテ等との連動による記録・保存が可能なもの）
- ・ 歯科用ユニット等（静音、軽量、小型で吸引・注水が一体型のもの、頭部固定が容易なもの、照明機能付のもの）
- ・ 医科及び歯科の訪問診療用の X 線撮影装置、超音波画像診断装置
（より小型、軽量で結果がすぐに確認できるもの） 等

2. 災害時対応型の医療機器

- ・ ポータブル吸引（痰）器（軽量、小型、吸引力強化及び調整可能機能等を有するもの）
- ・ 停電時対応型の酸素濃縮装置（酸素ボンベへの即時切り替えが可能、充電式のもの）等

3. 高齢者、障がい者や多疾患に罹患している方等に配慮した医療機器

- ・ 測定部位の変形や血流低下状態でも迅速に結果が出るパルスオキシメーター
- ・ 服薬支援機能付き吸入器
（残りの回数をわかりやすく表示するもの、視力障がい者向けの音声ガイド付きのもの）
- ・ 音声ガイド付きの血糖測定器（カートリッジ等による簡易操作型のもの）
- ・ 音声ガイド付きの人工呼吸器、酸素濃縮装置 等

【参考】調査の概要

目的：在宅医療に携わる方々が日頃感じている在宅医療における必要性の高い医療機器等を把握すること

実施時期：平成 25 年 1 月

対象：在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所、在宅療養支援歯科診療所、薬局（公益社団法人日本薬剤師会認定の在宅医療サポート薬局）、訪問看護ステーション、小規模多機能型居宅介護事業所
（計 15,277 施設、うち回答 3,203 件 (21.0%)）

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/zaitaku/